

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス リズム東伊興		
○保護者評価実施期間	令和6年8月12日		～ 令和6年9月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の皆様より信頼をいただいている。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様のデイでの様子を連絡帳や送迎時にお伝えする時間を有効的に活用するようにしています。 面談時には現在の様子だけでなく、ご家族の方が考える利用者様の将来像を聞かせていただき、そこに向けての現段階での課題や必要な支援、今後必要になる支援やサービスについてお話をさせていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> 祝日などを活用した参観日を検討します。 面談や送迎時のだけでなく、気軽に相談や話をしていただけるように、積極的な情報発信を施設側から行えるようなツールの導入、活用ができるよう努めます。
2	特色ある活動を行っている。(調理活動)	<ul style="list-style-type: none"> 企業理念である「生きる力」の具現化として、放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を組み合わせながら食と運動活動を多く取り入れている。 おやつ作りでは、身支度を整え、衛生面に気を付けながら利用者様の特性に合わせた作業分担を行ったり、昼食のある時には自分の弁当箱は洗って持ち帰る等、自立してできるところまで行おうとする姿勢を重視している。 	<ul style="list-style-type: none"> 偏食のある利用者様でも調理工程は楽しんで参加していただけることが多いため、活動を通して食への興味、関心が高められるようにバラエティ豊かなメニューを考案していく。 身支度を整えたり、衛生面に気を付けたり、弁当箱をきれいに洗うことが難しい利用者様もいるが、繰り返し行う中で定着、向上している部分も多い。肯定的な声掛けを行いながら、自立してできることが増えるよう一人一人の目標設定を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎や面談以外での保護者の方との交流や保護者間での交流の機会が提供できていない。	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を見ていただいたり、親子参加型のイベントなどが企画できていない。 保護者の皆様のニーズを把握する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子はご希望があればいつでも参観いただけますが、参観日として特定の日は設けていないため、参観日を年間計画の中に位置づけていく。 参観日や祝日に親子参加型のおやつ作りなど、保護者の皆さまが気軽に来所し交流を行える機会や場の提供を企画する。
2	地域とのつながりが薄い	<ul style="list-style-type: none"> 早帰りや時間のある日には地域の児童館や近くの公園に出かけ、遊ぶことはあるが、場の共有や譲り合いはするが一緒に活動することはほとんどない。双方に万が一事故やケガがあった際の責任の所在がはっきりできないことや、面談の中で自然でない形での関わりについては求めていない保護者の方は一定数おられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣での外活動(公園遊びや歩行など)では積極的に挨拶をしたり、学校が休みの際に近隣で催し物があれば見学や参加し、地域のみなさまに知っていただく。 年2回の避難訓練では一時避難場所までの移動を行うのみのことが多いため、避難所となる学校などに事前に連絡し、避難所まで行く訓練をさせていただけるよう働きかける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス リズム東伊興	公表日	令和6年10月21日
------	-----------------	-----	------------

利用児童数 21 回収数 16

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	1		雨の日など、室内で活動を行う際には若干スペースに不十分さを感じますが、可動式のテーブルを変えたことで活動スペースを広げられるようになりました。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	1		利用者様の人数やニーズに合わせた柔軟な人員配置を検討し、職員が子供一人一人に対して適切な支援ができるよう体制を整えて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1	0	2	面談の時に雰囲気を見ることはできますが、細かく確認していません。	フロアには多少の段差がございますので、利用者様がつまづかないように、注意深く見守りながらお声がけさせていただいております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0		安心して過ごせる空間を提供する為に清掃体制の見直しや衛生面での改善を引き続き行って参ります。空席のレイアウトや設備の見直しを検討し、より快適で活動的な環境を提供できるように空間作りを進めて行く所存です。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	1	子どもには合っていると思います。	スタッフの専門知識のさらなる向上を図るため、研修や勉強会を行っています。特性や状況に合わせた支援ができるよう努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1		定期的に確認と見直しを行い、内容が子供たちや家族のニーズに合っているかを評価し、必要に応じて改善や変更を加えています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	子どもが苦手なものにも対応いただいていると思います。	分析をより専門的かつ客観的に行うために、必要に応じて外部の専門家と連携し、子供一人一人に最適な支援計画を立てるための体制を強化して参ります。計画の内容を分かりやすく説明し、納得のいく形で支援が進められるようさらなる改善を図っていく所存です。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	1		本人支援、家族支援、移行支援の内容の再度見直しを行います。特に子供の支援に必要な項目が設定されているか、また具体的な支援内容が実際のニーズに合致しているかを確認し、必要な修正や改善を進めていきます。支援内容の設定にあたりスタッフが子供や家族とのコミュニケーションをより深め、日々の活動で見えてくるニーズを正確に把握できるように努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		不明な点がある場合は、計画の内容と実際の支援状況の確認を強化して参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	2		定期的に活動内容の見直しを行い改善を図る体制を強化致します。子供たちの興味や成長に応じた多様な活動プログラムを提供できるよう、スタッフ間での話し合いや外部のアイデアを取り入れ常に新しい視点を導入してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	8	子どもからは今年はお話聞いていません。	地域との交流を持つ機会は限られておりますが区の施設や児童館に遊びに行ったりしております。区の発達支援ネットワークを活用し、地域の子供たちとの繋がり深める方法について情報収集に努めて参ります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	1	5		家族が参加できる研修会、情報提供の機会が不足していることを認識し、これらを拡充していく必要があると考えております。既に開催している取り組みについても、家族に対して十分に周知されていない可能性があるので、情報発信の方法を改善し、参加しやすい環境を整えます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	0	0	1	サービス実施記録も細かく記入いただき、口頭での報告もありません。	子供の成長や変化に関して保護者との共通理解が得られるよう、情報をわかりやすく伝え、ご意見や質問にも丁寧に回答して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	1	みなさん子どものことを思って支援してくださっていると思います。	一人一人の感情や状況を理解し、それに寄り添った対応を心がけていきます。より良い信頼関係を築けるよう努めて参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	5	6	以前お便りをいただいたこともありますが、よくわかりません。	保護者間のコミュニケーションを促進する場を設けたり新たな活動で親子、兄弟イベントの企画も検討していきます。保護者やきょうだいの方々にとって有意義な交流の機会を提供できるよう、さらなる改善と支援を進めていく所存です。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	2		相談窓口や対応フローを文書や口頭で案内し、保護者や子供がいつでも相談できる環境であることを周知致します。相談や申入れがあった際には迅速かつ丁寧に対応できるよう、職員の連携を強化していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0		改善の余地があると認識し、子供や保護者からのフィードバックを積極的に受け取り、情報伝達の改善点を探り、柔軟に対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	3	リズム通信、毎月楽しみにしています。写真から普段の様子や雰囲気が見え、安心しています。	ありがとうございます。通信以外にもSNSを活用しリアルタイムで情報発信ができるように検討して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		個人情報の取扱いについては契約時に確認いただきました範囲での使用になるように徹底しております
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	2		ホームページを通じてマニュアルについて説明し、定期的な見直しと更新を行い、最新の対応が反映されている事を確認し、保護者が安全対策に対して安心できるように努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	1	訓練のお話しを子どもから聞いたことがあります。	年に2回の避難訓練（5月と10月）を実施し、訓練の様子は当日の連絡帳や次月の通信にてお知らせしておりますのでご確認いただけたらと思います。歩行活動の中でも避難場所を通るなどの工夫や利用者様が参加される以外にも机上訓練なども定期的に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	2		事故発生時に即座に保護者へ連絡が取れるよう事故対応のフローを全職員が把握し、保護者へ連絡が取れるよう努めます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0	調理活動では、作る過程に参加でき、みんなでおいしく楽しく食べることが、とても良い経験になっていると思います。行きたくないといったことはありません。楽しんでいます。	ありがとうございます。これからもすべての利用者様が楽しんで通所していただけるよう活動や支援内容の充実に向け職員一同精進して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	夏休み中は特に色々なところに連れて行ってくださり、プール遊び、夏祭りや夏ならではの体験もでき、とても充実した日々を過ごせていることに感謝しています。いつもありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。猛暑でしたので室内施設への外出が多くなりました。保護者の皆様には弊社の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス リズム東伊興		公表日	令和6年10月21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	テーブルを置んで移動できるものに変え、活動に応じてスペースを広げられるように整備を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	支援の目や人手がもう少しあればと感じることもありますが、規程の職員は適切に配置されており、経験豊富な職員も複数おり、職員ひとり人が連携し合いながら支援に当たっていると自覚しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	活動に応じて、テーブル配置やテーブル移動などを行い、広さの調整をしています。利用者がアクセスする場所についてはおおむねバリアフリーですが、一部段差のある箇所があります。歩行に難のある利用者様には職員が介助するなど配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	活動が多岐にわたりますので、すべてに合致した空間とまでは言い切れませんが、場の設定の工夫を行いながら活動を進めています。利用者様は概ね心地よく安定して過ごされていると認識しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	体調不良時やバニック、不穏時など一時的に個別に対応が必要な場合に静養室や周りからの視線をさえぎられる空間、事務室など場所を指定せず、利用者様が落ち着きやすい場所を使用するなど配慮をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	施設職員全体がミーティングなどを通して意見を出し合い、共通理解のもとに業務改善に努め、目標設定と振り返りは行っています。	やや形式的になっているような気がしますので、研修などを通してより充実したPDCAサイクルを行うことができるように努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年8～9月にかけて評価をお願いし、その結果を10月に公表しています。記述していただいた内容については当然ですが、最善の評価結果の分析を行い、保護者の皆さまの意向にお答えできるように、改善案を職員会議で話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	会社全体で月に1度無記名式のアンケートを実施しており、業務改善に対する意見なども記載することができ、結果は社内会議などで共有し、必要な事項については協議をしています。また、日常の業務の中や、ミーティング、送迎後などにも職員同士で気軽に話し合ったりできる環境を整えています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	社内には複数の事業所があるため、会議等を通して業務改善について話し合う機会は設けています。	業務全般に対して、事業所ごとに第三者による外部評価は実施されていないと認識しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	今年度からはオンライン研修を取り入れ、毎月全社共通で研修を受講しています。また、共通の研修以外でもオンラインの中から各事業所で選択的に研修を受けることができています。また、外部の研修等につきましても積極的に受講することもあります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	公表の時期が確定しましたら通信などでお知らせいたします。また、書面での配布を行うなど、周知が徹底できるようお願いいたします。	支援プログラムは完成に近い形で出来上がっておりますが、公表までは至っておりません。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメントについては最低でも年に2度、個別支援計画書の更新に合わせて行っております。また、ご利用者様の状態によって再アセスメントの必要性を認識した際には適宜行っております。面談などでアセスメントの結果を保護者の方と共有を行い、それらを元に計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々の活動記録やサービス提供実施記録の内容を共有したり、直接支援に関わる全ての職員の意見を集約しながら、利用者様の最善の利益を考慮した計画となるようにケース会議やモニタリングなど全員参加で行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画は職員に共有を回った後、個人ファイルに保管し、職員がいつでも確認できる状態になっております。また、計画に沿った支援ができるように活動立案の際にも、個々の到達点を共有するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	フォーマルなアセスメントについては事業所では実施しており、保護者の方から情報を得られた場合に活用させていただいております。日々の行動観察や、活動記録、などインフォーマルなものを中心にしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3	提供すべき支援につきましては、ガイドラインや行政などの情報を介して適切に理解すること、個別支援計画の中で各項目について記載をおこなっております。	地域支援、地域連携に関して具体的な支援内容の設定について情報が少なく、試行錯誤しながら記載を行っている状態です。設定にあたり、多くの情報を集めたいと思っておりますが、現状、事例などが少なく、厚労省やこども家庭庁などでも調べた限り、事例や記載例などが得られる物が少ないため、幅広く情報の収集をおこない、研修等があれば積極的に参加し、計画作成に活かしたいと思っております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	活動に幅りが生じないように、4つの基本活動を意識してプログラムの立案を行っています。立案に当たってはミーティングなどを通して職員全員参加で意見を出し合っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	利用者様の状況に合わせて活動の内容に変化を加えたり、季節の行事を行うなどしながら工夫しています。同じことを繰り返し行うことで習得できることがあったり、固定化されていることで安心して行動できる利用者様もいらっしゃいますので、適宜状況の判断をしながら進めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別と集団それぞれ活動の利点が活かせるように、利用者様の状況に応じて組み合わせの工夫をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日お迎え前にミーティングの時間を設け、その日の細かい確認を行っています。支援中にも職員が連携し合って連携して急な事態にも対応できるように心がけています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	業務日誌にその日の利用者様の様子などを記載しています。退勤されている職員もいますので、主に社員の間で情報や申し送り事項を共有しています。また、翌日のミーティングにて振り返りの時間も設けており、終了後に不在だった職員への共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	業務日誌に利用者様ごとの記入欄を設け、そちらに記録をしています。また、連絡帳も参考にしながらケース会議等で支援の検証をおこない、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	計画見直し前に必ずモニタリングを行い、保護者の方と共有しています。定期的な見直し時期以外でも利用者様の状態に変化が生じたときには適宜モニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	意図的に行っています。また、定期的に偏りが無いかについても検討を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	状況に応じて活動参加の最終意思決定は利用者様に行っていただいています。一日の終わりには自由遊びの時間を設け、自分で何をするかを決定して過ごしております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	主に所長が参画していますが、事前に職員間で情報共有や課題共有を行い、その中で適任者が別におられる場合、その職員に参画していただいています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	支援を行う体制は整えています。連絡や調整が難しい場面や先方が消極的なことも多いのが現状です。行政主導の元により連携が進みやよい対策がなされることに期待しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	事業所で体制が整えられるもの（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）は適切におこなっておりますが、学校からの情報提供はほぼなく、年計や行事予定、下校時刻については保護者から情報をいただいているのが現状です。下校時刻が当初予定から変更になることもあり、学校とダイレクトに情報共有ができるとうれしいと思っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	情報の共有や相互理解が必要となる場合には事前に保護者の方へ承諾をいただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	保護者の方の了承や要望に応じて情報の提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	区の自立支援協議会こども部門の児童発達支援事業所ネットワークの会合や研修などには参加しています。	それを持って連携といえるのかは疑問に感じているところ。要望に応じた助言などはいただけるようですので、活用させていただく機会を設けたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	地域の児童館や公園などに出かける事はあります。公園では場の共有や遊具の譲り合いなどはできていますので、そこから広がっていただければ良いと考えています。	一緒に活動する機会はありません。また、放課後児童クラブとの交流もありません。お隣りベースでの交流は今の所、考えておりません。今後どのように交流の機会が設けられるか検討を重ねていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	区の自立支援協議会こども部門の児童発達支援事業所ネットワークの会合や研修などは積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	サービス提供実施記録や日々の送迎時に利用者様の様子などを細かくお伝えし、家庭での様子についてもお伺いさせていただいています。概ね共通理解ができていると感じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	社外主催の研修など情報がありましたら周知をしております。	時間的、場所的問題から研修の機会は設けられておりません。保護者の皆様のご一歩をお伺いしながら計画できたらと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	ご契約の際にお伝えはいたしており、受給者証更新時負担額が変更になった際にもご説明をさせていただいております。支援プログラムにつきましては完成しましたら速やかに周知させていただきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	意向を表明することが難しい利用者様に対しては最善の利益を考慮しながら、計画案に記載を行っております。また、面談を通してご家族の意向、および利用者様の意向について確認する機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談の際に個別支援計画の振り返りを行い、次期支援計画をお示しし、支援内容の説明をさせていただいております。同意をいただいた上でご署名をいただいております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	サービス提供実施記録や送迎時にお話をいただいたり、基本的にはご要望に基づき面談を行わせていただいております。また、お電話での相談にはいつでも対応できるようにしています。状況によっては施設側より面談を提案させていただくこともございます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	5	リズムの事業所によってはイベントなどを開催し、保護者の交流などがなされているところもございます。	新型コロナウイルスの流行時期から保護者交流会は開催されておりません。当事業所としましては、祝日などを利用して利用者様とご家族の方が交流をできる機会が提供できるよう、検討をしています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	重要事項説明書に苦情受け付けについて記載をさせていただいております。また、事業所内にも掲示しています。事業所に直接言い辛い場合、福祉事務所でも対応しておりますので、ご承知おきください。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	リズム通信にて前月の利用者様の様子をお伝えさせていただいております。また、リズムインスタグラムにも日々の様子を適宜アップしておりますので、是非フォローお願いいたします。また、評価表やプログラムについてはHPにアップしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	ご契約時にご署名いただきました個人情報に関する同意書に基づき、適切に取り扱っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	障害の有無だけでなく、昨今、外国籍の保護者様も増えております。利用者様との意思の伝達ではサインやツールの活用、外国籍の保護者の方へのお伝え方法については母国語に翻訳するなど、しっかりと伝達できるよう、工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	日々の活動の中で近隣歩行や公園遊びなどでは積極的に地域の方々に挨拶をしたり、地域の方からの相談も随時お受けしております。	事業所の行事は主に利用者様向けに行っており、安全面の観点から行事への招待は行っておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルは事業所内に常備しており、いつでも閲覧していただけます。訓練等につきましては通信やインスタグラム、HPなど様々な方法で周知させていただけるように努めます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	各種災害時の業務継続計画は策定され、事業所にどなたでも閲覧していただけます。訓練も計画に基づいて適切に行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	面談の際に服薬情報、医療情報については確認させていただいております。また、発作時の状態についてもあらかじめお聞きし、適切に対応できるように職員にも周知しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	食物アレルギーのある利用者様につきましては、医師の指示書の提出をお願いし、それに基づいて対応を行います。現在、医師の指示書に基づく対応が必要とされる利用者様は在籍しておりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	今年度より安全計画に基づき、安全管理に関する研修や訓練などが義務化されておりますので、計画に沿って進めているところでございます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	避難訓練等に関しましては年に2回行っており、リズム通信でもお知らせをさせていただいております。	安全計画での取り組み内容につきましては、今年度より実施をさせていただいておりますので、見直し、修正を行ないながら周知させていただきたいと存じます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	自事業所でのヒヤリハットでは再発防止に向けた方策について検討会議を行っています。また、会社全体のヒヤリハットも共有しており、似たような事案が発生していないか、自事業所に関連しそうな事案はないかの確認もしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	年に2回の虐待に関する研修は全職員が受講することになっております。また、虐待防止委員会の定例会議や臨時委員会が開かれた際には情報を共有しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	まずは、身体拘束を行わずに支援することを前提に日々の支援を行っております。利用者様の状態や特性により、切迫した状況かつご本人や周囲の安全の担保が難しい状況になった場合にのみ、一時的に身体を拘束する必要性が認められる利用者様には事前に丁寧な説明を行い、了解を得て個別支援計画書に記載をさせていただいております。		